

令和5年度(令和6年度実施)事務事業評価

事業整理番号 0502 - 07

事務事業名	路上喫煙ポイ捨て防止パトロール事業	担当組織	環境清掃部	環境保全課
-------	-------------------	------	-------	-------

事業特性										
事業開始年度	30年度以前	事業終了年度		計画/一般	計画	計画事業No.	5-	2-	3-	4
単独/補助	区単独事業	運営形態	全部業務委託	関連するSDGsゴール		3	11	14	15	17
事業を構成する予算事業	①	路上喫煙ポイ捨て防止パトロール事業経費			②					
	③				④					
	⑤				⑥					

政策体系(令和5年度基本計画)			
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち	政策	環境の保全
施策	地域美化の推進	政策番号	5-2-3
関連する個別計画	無	計画策定年度	計画期間

1. 事業の概要・指標の達成状況										
(1)実施の対象(具体的に記載)	区民、来街者									
(2)事業の目的・期待する効果	路上喫煙・ポイ捨ての防止									
(3)事業概要	「路上喫煙及びポイ捨て防止に関する条例」に基づき、条例違反者に対し直接注意・指導を行うパトロールを実施する。									
(4)目標の達成状況	5年度の取組内容 5年度に実施した具体的な業務内容	区内を17の地域に分け、池袋駅周辺は毎日、その他の地域は平日にエリアをローテーションする形でパトロールを実施している。								
	成果指標 事業目標の達成度	成果指標	目指す方向性	単位	4年度(実績)	5年度(計画)		5年度(実績) (達成率)		6年度(計画値)
	①	路上喫煙率	→	%	0.03	0.05	0.03	140.0%	0.04	
	②	苦情件数	↘	件	314	300	306	98.0	300	
	③									
	指標の説明	①路上喫煙率とは、所定の時間帯に区内全駅前で実施する調査の際、路上喫煙者延べ数/通行者延べ数(成人)により算出した比率								
達成状況	達成	未達成または一部未達成の理由								
(5)取組実績	活動指標 事業の実施状況	活動指標	目指す方向性	単位	4年度(実績)	5年度(計画)		5年度(実績) (達成率)		6年度(計画値)
	①	路上喫煙・ポイ捨て防止パトロールの時間数(時間)	↗	時間	8,815	9,156	10,321	112.7	9,276	
	②									
	③									
	指標の説明	①区内全域で行った路上喫煙・ポイ捨て防止パトロールの実施時間数								
	達成状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移								
単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)	4年度		5年度			6年度		増減 (R5決算比)
	予算	決算	予算	決算	執行率	予算		
事業費	A	39,392	34,459	44,696	38,908	87.1%	44,696	5,788
財源内訳	国、都支出金	B						0
	使用料・手数料							0
	地方債・その他							0
一般財源	C=A-B	—	34,459	—	38,908		44,696	5,788
正規職員人数※小数点第1位まで		0.9	名	0.9	名		0.9	名
会計年度人数※小数点第1位まで		0.7	名	0.7	名		0.7	名

3. 総合評価及び令和6年度以降に向けての対応・改善策

(1)令和5年度成果と課題	【指標の達成状況(a)】 →S、A、B、C、Dの5段階で評価	A	根拠	成果指標の路上喫煙率、活動指標をともに達成している。				
	※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください。 ※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。							
①目標に対する成果状況を踏まえた課題								
池袋駅周辺の苦情が多い箇所を分析し、重点的に巡回するなど、より効果的なパトロール実施体制を検討していく。								
②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果)								
年間300件を超える苦情に対応している。								
(2)業務(事務)改善に向けての取り組み	【業務(事務)改善に向けての取り組み(b)】 S、A、B、Cの4段階で評価 →	A	根拠	実施日の拡充を図り、効果的に事業を運営できている。				
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。							
	①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲)							
	池袋駅周辺の苦情が多い箇所を分析し、重点的に巡回するなど、より効果的なパトロール実施体制を検討していく。							
②現状の実施状況における所管課の認識								
事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。		無	選択した理由	「有」の場合は対応策も記載。				
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。		有	選択した理由	委託内容を直営で実施した場合、よりコストが必要となるため、直営で実施するのは非効率である。				
サービスに係るコストは適正か		適正	選択した理由	区内全域をパトロールするために必要な経費である。				
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。		無	(有の場合)事業名					
③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況								
対応、改善を既に行った		はい	はい	取組内容及び効果	池袋駅周辺の実施日の強化(火・木の追加実施)。	予算措置	有	
はい・いいえどちらも (はいの場合は更なる対応・改善の予定)								
対応、改善の予定		無	無	対応、改善の予定がない理由	十分な実施体制の拡充を図り、現時点では効率的に事業運営が行われているため。			
有		対応、改善の内容		予定時期				
		予算措置		有	予算措置を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由		
(3)必要性/優先度	【区が実施する必要性(c)】 S、A、B、Cの4段階で評価 →	A	根拠	路上喫煙の防止と環境美化の推進に必須の事業で、区民からのニーズが高まっているため。				
	※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。							
	①区が実施する理由(複数選択可)							
	<input type="checkbox"/> 区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック		<input checked="" type="checkbox"/> 法律の要請を受けて行う事業である。					
<input type="checkbox"/> 民間事業者等に同様のサービスがない。		その他(理由)						
②区民ニーズ								
区民ニーズを表す指標		有	有	指標番号(成果)	②	指標番号(活動)		サービス利用者数
				推移	→	推移		
有・無どちらも								
区民ニーズに対する認識		たばこに関する苦情は年間約300件寄せられており、路上喫煙・ポイ捨て防止対策に対するニーズは高い。						

総合評価(d) = a+b+c	ランク1
-----------------	------

4. 【前年度事務事業評価対象事業のみ】改善に向けた取組内容について

(前年度事務事業評価表) 4「所管課の認識・R5年度以降の対応」を記載	
上記の改善に向けて取り組んだ内容を記載(未着手の場合には理由を記載)	

改善に向けた取組内容についての自己評価 (e)		根拠	
-------------------------	--	----	--

5. 令和6年5月末時点の状況

① 令和6年度当初の課題・ニーズ	令和4年度、令和5年度にたばこに関する苦情は300件以上寄せられている。新型コロナ5類への移行や外国人観光客等の増加により、今後も苦情の件数が大幅に減少することは見込めないため、路上喫煙・ポイ捨て防止に関する取り組みは必須である。
② 国・都の動き(関係法令の改正・補助金の創設・方針の変更など)	なし
③ 令和6年度の方向性・取組方針(事業展開)	・実施日を拡充した池袋駅周辺では、区民だけでなく来街者や外国人観光客なども多いため、路上喫煙者に対する注意・指導と合わせ、豊島区の喫煙ルールの周知も同時に図っていく。
④ 令和6年度の事業進捗状況	・5月末時点での指導件数は9,659件であり、昨年度の指導件数と同水準で推移している。
⑤ 区民等からの事業に対する意見・要望	・路上喫煙やポイ捨てが多い箇所を具体的に示し、パトロールを強化してほしいという要望が日常的に入る。
⑥ 上記⑤に対する対応	・現状では、区内を地域ごとに分けてローテーションで巡回しているため、一か所に留まって注意指導することはできないと説明している。

-----以降の項目は、評価内容を踏まえて管理職が記載してください-----

今後の事業費予算要望 (f)	現状維持	根拠	路上喫煙・ポイ捨て防止対策に対する区民の要望は高く、パトロールの継続は必須であるため。
----------------	------	----	---

今後の事業の方向性(d+e+f) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)	A	※eは該当の事業のみ加味
---	---	---------------------

上記判断と今後の事業の方向性を踏まえ、令和6年6月以降に向けての対応を記載(改善方法、課題への対応など)
 区民の路上喫煙や受動喫煙に対する意識は依然として高く、今後も池袋駅周辺の来街者の増加が予測されるため、引き続き、効果的なパトロールを実施し、路上喫煙者に対する注意・指導を行っていく。